



NEXT10にむけて

「なごや環境大学」では、2016年度も多様な主体と協働し、幅広い年代の方により環境に関心をもっていただけるように様々な事業を行いました。

なごや環境大学主催 連続講座 (全5回) みんなで歩くワクワクなごや

2014年に作成した冊子『なごや環境大学を活用したESD実践のための提案』の実現に向け、名古屋市の他部局と市民を繋げる橋渡し役として主催講座を実施しました。涌井学長自らご案内頂いた第1回をはじめ、なごやのまち、水、みどり、伝統など、ぶらぶらとおしゃべりしながらサステナブルななごやを見つめる学びあい講座です。

全5回 延べ154名受講

第1回 6月18日(土)

サステナブルキャンパス&名城公園をぶら散歩

愛知学院大学と名城公園の散策ツアーでは、環境へ配慮した設計のポイントや公園の歴史、見所などを学びました。涌井学長、飯尾氏によるトークセッションでは、これからの名古屋に求められるまちづくりについての話を伺い、最後は「ワクワクポイント」を出し合いながら名古屋の未来へのヒントを探るワークショップを行いました。

- 【会場】 愛知学院大学 (拠点会場：アガルスホール)、名城公園
 【講師】 涌井 史郎氏 (「なごや環境大学」学長)
 山田 義丈氏 (学校法人 愛知学院 法人本部 法人企画室 事務長)
 今西 良共氏 (名古屋市 緑政土木局 緑地部長)
 飯尾 歩氏 (中日新聞 論説委員)



名古屋城を背に涌井学長トーク



名城公園をぶら散歩

第2回 7月9日(土)

使った水の最後の行き先を知ろう

下水処理施設の空見スラッジリサイクルセンターにて、汚泥が処理される仕組みを施設見学や実験などを通して学び、敷地内の緑化など環境にやさしい施設づくりに努めていることを、屋外の遊歩道を歩きながら教えていただいた。野鳥観察館では、渡り鳥や干潟の役割について解説していただいた。その後、各自望遠鏡で野鳥を探し、観察したり先生に質問をしたり、楽しい時間を過ごしました。

- 【会場】 空見スラッジリサイクルセンター、名古屋市野鳥観察館
 【講師】 赤塚 直考氏 (南部宝神水処理事務所副所長)
 村瀬 隆志氏 (南部宝神水処理事務所主査)
 森井 豊久氏 (名古屋鳥類調査会 会長)



実験を交えて見学



野鳥を観察

第3回 9月3日(土)

もうすぐ開園80周年♪東山植物園 植物園長と行く♪ ちょっとマニアな植物園ツアー

東山植物園内の見学ツアー。植物を見ながら、場面場面で藤井園長による絶滅危惧種の保全や植物園の役割等の解説付き。参加者からは「植物園の見方が変わった」「普段聞けない貴重な情報が聞けて良かった」との声が多かったです。

- 【会場】 東山植物園 【講師】 藤井 辰則氏 (東山植物園長)



園長の解説を聞きながらのツアー



第4回 10月8日(土)

体験を通じて、ものづくりと文化と環境を考えよう

昔ながらの材料と技法で造る名古屋扇子の老舗「末廣堂」で、名古屋の伝統産業である扇子の歴史と文化、かかわる職人等について学び、実際に扇子づくりを体験していただいた。扇子は絵を描くところから始め、思い思いのMY扇子が完成しました。

- 【会場】 末廣堂 (西区・ものづくり文化の道)
 【講師】 川瀬 隆明氏・川瀬 なをみ氏 (末廣堂)



熱心に下絵を描く受講者



紙に竹を差す「中差し」作業

第5回 12月10日(土)

ワクワクしましょ。発見!サステナなごや

第5回のゲストは、名古屋在住のフリーライター大竹敏之氏。奥深い名古屋の喫茶店文化のみみつなど「なごやめし」について、面白く楽しいお話を伺いました。後半は、大竹さんを通じて「こんな名古屋にしたいな〜なごやの未来」と題し、第1回から4回までで見つけたコト、モノ、ヒトを紹介しあい、未来に向けたサステナブルなごやを描きました。

- 【会場】 愛知学院大学 (拠点会場：アガルスホール)
 【講師】 大竹 敏之氏 (フリーライター)



フリーライター大竹敏之氏



皆で記念撮影

ひととひと、団体と企業、行政や教育機関とつながって、みんなで未来を創る。
なごや環境大学11年めの試みをピックアップしてご紹介します。

環境デーなごや2016中央行事参画 わっか も の ビレ ッ ジ WATSUKA MONO Village

9月17日

学生会議 延べ103名参加
イベント当日 730名来場

2015年度から環境デーなごや中央行事内で実施されている学生企画が「WATSUKA MONO Village」です。
企画のアイデア出しから制作、当日運営までを名古屋市域の大学から集った学生チームが実行しました。

【会場】 久屋大通公園エンゼル広場、久屋広場
【参加学生の所属】
愛知淑徳大学、名古屋外国語大学
名古屋工業大学、愛知大学、名古屋学芸大学
SNP (サスティナブル・なごや・プロモーション)



環境を学ぶ手作り体操「パン太郎体操第一」



コースターでエコメッセージをシェア



古本を交換できるエコトレガチャ

エコプロ2016参画 イベントステージ、ブース出展 12月8日~10日

全国の企業、NGO、NPO、自治体等が集まる日本最大規模の環境展示会「エコプロ」へ、イベントステージとブース出展にて参画。「なごや環境大学」の認知度向上、プラットフォームモデルとしてのプロモーションを行いました。

【会場】 東京ビッグサイト

イベントステージ

100名来場

「家康公に学ぶ、江戸時代のサスティナビリティ」

江戸時代の循環型社会がいかにして作られていたかを、「商い、まちづくり」「寺子屋」「庶民文化」などをキーワードに、涌井学長と400年前から蘇った徳川家康公がご紹介。そして、現代版寺子屋といえる「なごや環境大学」の取り組みから、未来につながる社会の在り方を提案しました。

- 【出演者】・なごや環境大学学長 涌井 史郎 氏
・名古屋おもてなし武将隊 徳川 家康 公
・名古屋外国語大学准教授 横山 陽二 氏(司会)
・名古屋市環境局環境企画部主幹 小木原 吏香(コーディネーター)



▲涌井学長(左)と徳川家康公

◀注目を集めたイベントステージ

ブース出展

295名来場

ブースでは、事前に共有講座を受講した学生たちが、展示パネルや紹介ムービーを制作。また、来場者に対し自分たちの言葉で「なごや環境大学」の紹介をしてくれました。

【参加学生の所属】
名古屋外国語大学、SNP



ブースで説明する学生たち